

もの忘れ外来のご案内

～運転免許臨時適性検査診断書や成年後見制度診断書作成に対応します～

もの忘れ外来って どんなことをするの？

誰しも年齢を重ねると忘れっぽくなってきます。加齢によるもの忘れと認知症をしっかりと見極め早期に適切な治療を行うことが重要です。

認知症は早めに発見し、予防対策を行うことである程度進行を遅らせることも可能です。

脳波やMRI検査、様々な認知機能検査を行い神経内科医師や看護師、ソーシャルワーカーなどの専門スタッフがチームとなり、予防から診断、治療導入まで対応させていただきます。



私たち専門スタッフが寄り添います。

最近の様子で当てはまるものがありますか？

- 物の名前が出てこないことが増えた
- 趣味に興味を示さなくなってきた
- 今日の日付や約束の時間、場所を間違える
- 何度も同じことを聞くことが増えた
- 買い物で、小銭の支払いが難しくお札で払うことが増えた



【お問合せ・ご相談】

東館1階 医療相談室（健診センター横）

平日 午前8時30分～午後5時00分

予約・相談ダイヤル

0142-23-2211

受診予約から診断までの流れ

電話または直接来院にて予約

- 受診の目的や日頃の様子を伺います
- 診察には生活状況や病歴を説明できる方の同伴をお願いしています
- 予約票、問診票はご自宅に郵送しますので受診日までに記入の上、ご持参ください
- 地域の関係機関（ケアマネージャー等）と連携させていただきます



1回目

公認心理師による
認知機能検査

2回目

採血
脳波・MRI検査

3回目

採血・レントゲン
心電図・神経内科医の診察

※検査結果により、追加の検査が必要となる場合があります。
診断後、かかりつけ医のもとで治療を開始します。



予約当日にお持ちいただくもの

- 紹介状（診療情報提供書）
- マイナンバーカード、健康保険証、各種医療証等
- おくすり手帳
- 予約票・問診票

受診費用の目安（1割負担の場合）

1回目 2,000円 2回目 4,000円 3回目 3,000円